

令和 6 年度事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

公益財団法人 古紙再生促進センター

令和6年度 事業報告

令和6年度は、物価高、金利上昇、ウクライナ侵攻の継続など、国内外における古紙を取り巻く環境が変化し続け、我が国の紙リサイクルが大転換期の渦中にあります。当センターは2050年のカーボンニュートラルの達成や循環経済の実現に向けて、紙リサイクルの環境・経済・社会側面の統合的向上や全体最適を念頭におきつつ、古紙品質安定対策事業、広報事業、調査研究事業及び紙の資源リサイクル安定化対策事業を4つの柱として次のとおり実施した。

また、創立半世紀の節目を迎え、様々なステークホルダーの意見を踏まえた一連の中長期的な課題の抽出を通じて明らかにしたテーマについて、具体的な対応に繋げていく新たな起点の年とすべく、循環型社会形成に関する連携・協働のつなぎ手として資源循環の促進に向けた事業に努めた。

1. 古紙品質安定対策事業

国内での幅広い古紙利用の中、古紙品質の維持向上を図るための事業を実施した。



(1) 古紙品質調査事業（平成24年度から継続）

北海道地区、東北地区、関東地区、中部地区、近畿地区、中・四国地区、九州地区で発生する古紙について、製紙工場において古紙の開梱組成調査を実施した。また、回収雑誌の開梱方法の再統一を図った。

地区	段ボール	新聞	雑誌
北海道地区	1工場 2ベール	1工場 2ベール	
東北地区	1工場 2ベール		
関東地区	5工場 10ベール	3工場 5ベール	10工場 20ベール
中部地区	3工場 6ベール	2工場 4ベール	4工場 8ベール
近畿地区	3工場 12ベール	1工場 4ベール	1工場 1ベール
中・四国地区	2工場 4ベール	1工場 2ベール	1工場 2ベール
九州地区	2工場 4ベール	2工場 4ベール	3工場 6ベール

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。

【段ボール】

	段ボール	その他紙 〈基準 3%以下〉	禁忌品(A+B) 〈基準 0.3%以下〉
令和6年度	98.2	1.5	0.2
令和5年度	97.7	2.1	0.3
過去8年平均 ^注	97.2	2.2	0.6

注) 過去8年平均は、平成27年度～令和4年度の8年間の平均。

【新聞】

	新聞	チラシ	その他紙 〈基準 1%以下〉	禁忌品(A+B) 〈基準 0.3%以下〉
令和6年度	65.6	31.1	2.9	0.4
令和5年度	65.2	31.6	2.7	0.4
過去8年平均 ^注	63.2	34.3	2.2	0.3

注) 過去8年平均は、平成27年度～令和4年度の8年間の平均。

【雑 誌】

	雑誌	チラシ・新聞	段ボール	雑がみ (その他の紙)	禁忌品(A+B) (基準 0.5%以下)
令和 6 年度 ^{注1}	31.7	18.6	1.2	48.0	0.6
令和 5 年度	67.5	17.4	0.5	14.1	0.5
過去 8 年平均 ^{注2}	64.6	16.7	0.8	17.1	0.8

注1) 令和 6 年度より回収雑誌古紙の開梱方法は、まずは綴じられたものを計量し、チラシ・新聞、段ボール、禁忌品の計量後、残りを「雑がみ(その他の紙)」とした。

注2) 過去 8 年平均は、平成 27 年度～令和 4 年度の 8 年間の平均。

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

古紙品質トラブル及び古紙品質情報の報告を全国で実施した。報告を受けた情報は、各地区委員会に報告するとともに全国製紙原料商工組合連合会の会員専用ホームページに掲載を依頼した。

古紙品質トラブルの報告件数は以下のとおりである。

() は昨年度件数

地区	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
東北地区					(1)	(1)
関東地区	3 (4)	1 (0)		7 (14)	2 (1)	13 (19)
中部地区					2 (1)	2 (1)
合計	3 (4)	1 (0)		7 (14)	4 (3)	15 (21)

古紙品質情報の報告は製紙工場での受入れ時もしくは仕込み時の検収におけるもので、報告件数は以下のとおりである(令和 6 年 4 月～令和 7 年 2 月集計)。

【受入れ時検収】

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
北海道地区					11	11
東北地区					2	2
関東地区		203		90	164	457
静岡地区				2	200	202
中部地区					30	30
近畿地区		5		17	85	107
中・四国地区					277	277
九州地区		77	6	30	255	368
合計	0	285	6	139	1,024	1,454

【仕込み時検収】

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
東北地区				19	68	87
関東地区			6			6
静岡地区						0
中部地区		13		8	41	62
近畿地区		3		4	7	14
九州地区				1	10	11
合計	0	16	6	32	126	180

(3) 個別古紙品質対策

トラブル報告及び古紙品質報告の際に、臭いのついた紙及びロウ引き段ボール箱の混入防止を呼びかけた。

2. 広報事業

地方自治体職員や一般消費者、事業者、小中学生等を対象に啓発や情報発信に努め、対面型・オンライン型のハイブリッドにより、従来カバーできなかった地域での事業拡大を進めた。また、『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、継続して応募点数の増加等、さらなる内容の充実を図った。

なお、当センターは創立 50 周年を迎え、記念誌を作成するとともに記念シンポジウムを開催した。



(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル研修会

ア 紙リサイクル研修会

主に一般市民や事業者を対象に全 12 回(参加人数は 1,122 名)の研修会を実施した。

	実施日	実施場所	対 象 者	参加人数	形式	申込団体等
①	令和 6 年 4 月 16 日	岩手県 盛岡市	岩手県再生資源商工組合 組合員、県内自治体	20 名	対面	岩手県再生資源商工組合
②	5 月 30 日	神奈川県 川崎市	川崎市内事業系一般廃棄物 多量排出事業者	97 名	対面	川崎市環境局生活環境 部減量推進課
③	10 月 10 日	神奈川県 川崎市	川崎市廃棄物減量指導員、 一般参加者等	300 名	対面	川崎市環境局生活環境 部減量推進課
④	11 月 8 日	兵庫県 西宮市	西宮市内事業者	115 名	対面	西宮市環境局環境事業 部事業系廃棄物対策課
⑤	11 月 15 日	石川県 金沢市	石川県再生資源事業協同組合、 金沢市等	11 名	対面	石川県再生資源事業協 同組合
⑥	12 月 10 日	東京都 中央区	(公社)日本包装技術協会会員	141 名	オンライン	(公社)日本包装技術協会
⑦	令和 7 年 1 月 17 日	秋田県 能代市	能代市廃棄物減量等推進員	70 名	対面	能代市環境衛生課
⑧	2 月 8 日	千葉県 旭市	旭市一般市民・小中学生	131 名	対面	旭市環境課
⑨	2 月 11 日	岩手県 遠野市	遠野市生活環境協議会役員、 代議員、各行政区自治会長等	69 名	オンライン	遠野市生活環境協議会
⑩	2 月 12 日	埼玉県 志木市	志木市一般市民	17 名	対面	志木市市民生活部 環境推進課
⑪	2 月 18 日	富山県 富山市	富山市内事業者	50 名	対面	富山市環境部廃棄物対 策課
⑫	2 月 26 日	東京都 江戸川区	紙パルプ技術協会会員、 一般市民	101 名	併用	紙パルプ技術協会
実施数:12 回 ・ 参加人数:1,122 名(令和 5 年度 11 件、635 名)						

イ 自治体の新人廃棄物担当者向け研修会

古紙回収の促進は全国の自治体の協力無くして行うことは難しいことから、新任担当職員を対象に古紙を取り巻く十分な情報を共有することを目的としてオンラインでの研修を以下の内容にて実施した。

また、多くの方が視聴できるように動画をホームページに掲載した。

日 時： 令和6年5月31日(金) 14時00分～16時00分

講 演： ①「紙リサイクルの基礎知識」

(公財)古紙再生促進センター 業務部業務課 担当課長 濱野 彰吾

②「紙製造・古紙利用の現場から」

日本製紙株式会社 技術本部生産部 主席技術調査役 青木 功 氏

③「古紙問屋・集荷の現場から」

全国製紙原料商工組合連合会 副理事長

三弘紙業株式会社 代表取締役社長

上田 晴健 氏

2) 紙リサイクル出前授業

主に小学校高学年児童を対象に全68回(参加人数は4,103名)の出前授業を実施した。

地区	地区別 回数	実 施 日	対象校等・学年	形式	参加 人数
北海道	①	令和6年 9月14日	釧路市西商店街	対面	31名
関 東	①	令和6年 6月 7日	千葉市立磯辺第三小学校4年生	対面	102名
	②	6月12日	千葉市立蘇我小学校4年生	対面	98名
	③	6月20日	加茂市立石川小学校4年生	対面	41名
	④	6月27日	朝霞市立朝霞第四小学校4年生	対面	97名
	⑤	6月27日	加茂市立加茂小学校4年生	対面	32名
	⑥	7月 8日	千葉市立生浜西小学校4年生	対面	69名
	⑦	7月20日	板橋区立リサイクルプラザ講座 小学生とその家族	対面	32名
	⑧	7月24日	朝霞市講座 小学生	対面	32名
	⑨	7月26日	むさしのエコreゾート講座 幼児・小学生とその家族	対面	30名
	⑩	7月31日	世田谷区松原まちづくりセンター講座小学 生とその家族	対面	44名
	⑪	8月 7日	三芳町講座 小学生とその家族	対面	32名
	⑫	8月 8日	市川市立信篤小学校C保育クラブ 小学生	対面	30名
	⑬	8月23日	川越市立高階南公民館講座 小学生	対面	18名
	⑭	9月26日	朝霞市立朝霞第二小学校5年生	対面	95名
	⑮	10月 2日	千葉市立園生小学校4年生	対面	110名
	⑯	10月30日	千葉市立さつきが丘西小学校4年生	対面	19名
	⑰	11月 6日	横浜市立鴨居小学校4年生	対面	29名
	⑱	11月14日	横浜国立大学教育学部附属横浜小学校 4年生	対面	35名
	⑲	11月19日	足立区立弥生小学校4年生	対面	91名
	⑳	11月21日	横浜市立みなとみらい本町小学校5年生	対面	30名
	㉑	11月26日	千葉市立稲丘小学校4年生	対面	99名
	㉒	12月 9日	千葉市立仁戸名小学校4年生	対面	28名
	㉓	令和7年 3月25日	港区立飯倉保育園3～5歳児	対面	61名
静 岡	①	令和6年 7月 3日	富士市立須津小学校4年生	対面	81名
	②	7月11日	富士市立富士南小学校4年生	対面	167名

地区	地区別 回数	実 施 日	対象校等 ・ 学年	形式	参加 人数
静 岡	③	8 月 29 日	富士市立東小学校 4 年生	対面	12 名
	④	9 月 10 日	富士市立広見小学校 4 年生	対面	86 名
	⑤	9 月 13 日	富士市立富士見台小学校 4 年生	対面	43 名
	⑥	10 月 8 日	富士市立田子浦小学校 4 年生	対面	87 名
	⑦	10 月 18 日	富士市立天間小学校 4 年生	対面	44 名
	⑧	11 月 20 日	富士市立富士第一小学校 4 年生	対面	93 名
	⑨	12 月 11 日	富士市立伝法小学校 4 年生	対面	96 名
	⑩	12 月 13 日	富士市立吉永第一小学校 4 年生	対面	44 名
	⑪	12 月 26 日	放課後等デイサービス 富士あけぼの園 吉原中央小・中・高校生	対面	12 名
中 部	①	令和 6 年 5 月 31 日	一宮市立開明小学校 4 年生	対面	62 名
	②	6 月 6 日	名古屋市立天子田小学校 4 年生	対面	47 名
	③	6 月 7 日	名古屋市立大和小学校 4 年生	対面	69 名
	④	6 月 18 日	名古屋市立杉村小学校 4 年生	対面	47 名
	⑤	6 月 27 日	名古屋市立神の倉小学校 4 年生	対面	105 名
	⑥	7 月 1 日	名古屋市立広路小学校 4 年生	対面	98 名
	⑦	7 月 5 日	名古屋市立辻小学校 4 年生	対面	31 名
	⑧	7 月 8 日	桑名市立大山田東小学校 4 年生	対面	129 名
	⑨	7 月 9 日	名古屋市立中島小学校 4 年生	対面	80 名
	⑩	7 月 10 日	名古屋市立城北小学校 4 年生	対面	86 名
	⑪	7 月 10 日	名古屋市立緑小学校 4 年生	対面	59 名
	⑫	7 月 16 日	岐阜市立本荘小学校 5 年生	併用	90 名
	⑬	7 月 23 日～26 日	愛知県緑化推進委員会みどりの少年団 小学生	対面	146 名
	⑭	8 月 22 日	瀬戸市本地地域力向上委員会 小学生	対面	26 名
	⑮	9 月 10 日	和歌山市立西脇小学校 4 年生	対面	48 名
	⑯	9 月 11 日	和歌山大学教育学部附属小学校 4 年生	対面	16 名
	⑰	9 月 18 日	美濃加茂市立古井小学校 3 年生	併用	124 名
	⑱	10 月 2 日	名古屋市立楠小学校 4 年生	対面	21 名
	⑲	10 月 9 日・10 日	名古屋市立松栄小学校 4 年生	対面	135 名
	⑳	11 月 8 日	桑名市立多度中小学校 4 年生	対面	63 名
	㉑	12 月 5 日	田辺市立中芳養小学校 4 年生	対面	19 名
	㉒	令和 7 年 1 月 8 日	東郷町立春木台小学校 4 年生	対面	78 名
	㉓	2 月 8 日	名古屋市立万場小学校 4 年生	対面	63 名
近 畿	①	7 月 13 日	伊丹市立摂陽小学校土曜学習事業 小学生	対面	31 名
	②	8 月 2 日	大阪市立福島小学校いきいき活動室 小学生	対面	50 名
	③	9 月 7 日	伊丹市立池尻小学校土曜学習事業 小学生	対面	28 名
	④	10 月 25 日	長岡京市立長岡第四小学校 4 年生	対面	53 名
	⑤	令和 7 年 1 月 31 日 2 月 14 日	神戸市立東須磨小学校 4 年生	対面	96 名

地区	地区別 回数	実 施 日	対象校等 ・ 学年	形式	参加 人数
中 国 四 国	①	令和 6 年 6 月 25 日	岡山市立妹尾小学校 4 年生	対面	72 名
	②	9 月 11 日	高松市立第一小・中学校 6・7 年生	対面	32 名
	③	9 月 14 日	香川銀行青少年育成支援財団主催 親子 SDGs 教室 小学生とその家族	対面	19 名
九 州	①	8 月 20 日	唐津市立西唐津小学校 西唐津第3放課後児童クラブ 小学生	対面	13 名
	②	11 月 5 日	九州ルーテル学院 インターナショナルスクール小学部	併用	17 名
実施数:68 回、参加人数:4,103 名 (令和 5 年度 72 件、4,769 名)					

3) 地域広報活動

各地区委員会で環境関連イベントの参加など以下の紙リサイクル啓発活動を実施した。九州地区委員会では毎年行っている子供向け「親と子の紙リサイクル読本」を作成し配布した。

地 区	開 催 日	開催地	行 事 名	内 容
北 海 道	令和 6 年 9 月 14 日	北海道 釧路市	北海道リサイクル ペーパーフェア	紙すき体験、古紙の分別体験、啓 発資料・ノベルティの配布
静 岡	令和 6 年 8 月 2 日	静岡県 富士市	静岡県工業技術 研究所フェア	雑がみ回収・古紙分別回収啓発、 雑がみ回収袋配布、紙リサイクルノ ート配布
	9 月 8 日	静岡県 浜松市	ごみ減量 チャレンジ Day	啓発パネル展示、雑がみ回収・古 紙分別回収啓発、雑がみ回収袋 配布、紙リサイクルクイズ実施
	令和 7 年 2 月 7 日 8 日	静岡県 富士市	ものづくり力 交流フェア 2025	啓発パネル展示、雑がみ回収・古 紙分別回収啓発、雑がみ回収袋 配布、紙リサイクルクイズ実施
中 部	令和 6 年 8 月 24 日 25 日	石川県 金沢市	いしかわ 環境フェア	古紙回収・利用促進のPR、クイ ズ、アンケート用紙の配布等
	9 月 14 日	愛知県 名古屋市	環境デーなごや 2024	古紙分別のパネル展示、雑がみ・ 紙製容器包装に関するクイズ、ア ンケート用紙の配布等
	9 月 22 日	長野県 長野市	ながの 環境フェア	古紙回収・利用促進のPR、クイ ズ、アンケート用紙の配布等
	10 月 12 日	石川県 金沢市	かなざわ エコフェスタ	古紙回収・利用促進のPR、クイ ズ、アンケート用紙の配布等
	11 月 9 日	石川県 加賀市	エコフェスタ in かが	古紙回収・利用促進のPR、クイ ズ、アンケート用紙の配布等
	9 月 19 日 ～ 12 月 3 日	愛知県 名古屋市	名古屋市 施設見学会	製紙工場・古紙回収会社等 6 事業所の見学会
九 州	令和 7 年 1 月 16 日 24 日 2 月 12 日 18 日 20 日	福岡県 北九州市	古紙リサイクル バスツアー	北九州市内の小学校 4 校の小 学 生 5 年生を対象に古紙の回収・流 通・再生の現場の見学会

4) 創立 50 周年記念シンポジウム開催、記念誌発刊

古紙再生促進センターは令和 6 年 3 月に創立 50 周年を迎えることができ、この一環として記念シンポジウムを開催した。また、昭和・平成・令和と受け継がれてきた足跡をたどり、未来に向けて記念誌を発刊した。なお、本シンポジウム開催に伴い、紙リサイクルセミナーは実施しなかった。

ア 記念シンポジウム

日 時 : 令和 6 年 10 月 16 日(水) 13 時 30 分 ~ 16 時 40 分

会 場 : 経団連会館 国際会議場 参加者 359 名

基調講演 : 「紙リサイクルの新たな挑戦」

東海大学副学長、政治経済学部経済学科・教授

慶應義塾大学名誉教授

中部大学理事、学事顧問、名誉教授 細田 衛士 氏

事例紹介 : I 次なる 50 年へ

(パネリスト) 国立研究開発法人 国立環境研究所

資源循環社会システム研究室 室長 田崎 智宏 氏

II 包装設計から見る「紙化」への期待と課題

包装技術コンサルタント

株式会社パックエール 代表取締役社長 内村 元一 氏

III ごみの減量化・資源化に向けて

神奈川県伊勢原市 経済環境部

清掃リサイクル課 資源循環係 係長 横山 亜紀子 氏

IV 持続可能な社会づくりのための環境教育の推進

全国小中学校環境教育研究会 会長

東京都多摩市立連光寺小学校 校長 関口 寿也 氏

V 日本から学ぶ資源リサイクル:インドネシア人留学生の視点

京都大学大学院地球環境学舎 修士課程 2 回生

ファティマ シャクラ アズハリ 氏

モデレーター : 株式会社ダイナックス都市環境研究所

代表取締役会長 山本 耕平氏

イ 創立 50 周年記念誌

目 次 (全 48 ページ)

発刊のご挨拶

祝辞

創立 50 周年記念式典

沿革編

第 1 章 紙リサイクル時代へ始動 [1974-1990]

第 2 章 循環型社会の構築に向けて [1991-2000]

第 3 章 紙リサイクルの拡大・加速化を推進 [2001-2010]

第 4 章 古紙のグローバル化に対応 [2011-2019]

第 5 章 新たな 50 年に向けて [2020-]

資料編

センター概要

組織図

歴代理事長

年表
各種統計
編集後記
古紙需給推移

5) 啓発資料等の配布

ア 会 報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を会報(年 4 回、1,100 部/回)として発行した。

イ 古紙ハンドブック

隔年発行の『古紙ハンドブック 2025』の掲載データ収集及び原稿作成を行った。

ウ 啓発資料の配布

啓発資料は地方自治体・関係団体等へ提供を行った。

内 訳	件 数
チラシ、パンフレットの提供	76 件
啓発用パネルの貸出し	10 件

エ ホームページ

報告書の公開及び統計データ等の更新を行い、情報発信に努めた。

6) 紙リサイクルコンテスト

16 回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024」は、令和元年度から継続して文部科学大臣賞の交付を受け、また、応募点数の増加のために内容の充実を図り、2,955 点の応募があった。

全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等による厳正な審査のうえ、文部科学大臣賞や金賞などの各賞を決定した。

文部科学大臣賞、金賞及び特別金賞受賞者を招いて表彰式を以下のとおり開催した。

日 時 : 令和 7 年 3 月 1 日(土) 13 時 30 分 ~ 14 時 30 分

会 場 : ホテルメトロポリタンエドモント 1 階「クリスタルホール」

後 援 : 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

< 文部科学大臣賞 >

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	東京都 昭和女子大学附属昭和中学校 3 年	柳田 真緒	紙を捨てる概念がなくなる日のために
ポスター	山形県 山形大学附属小学校 6 年	佐藤 綾芽	広がれ！！つながれ！！ 紙のリサイクル

<金賞>

部 門		学校名・学年	氏 名	作 品 名
作文	小学生部門	愛媛県 愛媛大学教育学部附属小学校 1 年	若狭 早	リサイクルのヒーロー
	中学生部門	愛知県 愛知教育大学附属岡崎中学校 2 年	小山 るか	雑がみは立派な資源
ポスター	小学生部門	茨城県 龍ヶ崎市立八原小学校 4 年	川島 颯記	広げよう 紙リサイクルの輪
	中学生部門	愛知県 刈谷市立依佐美中学校 3 年	江坂 蒼依	捨てないで紙バック！

<特別金賞>

部 門		学校名・学年	氏 名	作 品 名
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞		神奈川県 アトリエ ENDO 6 年	浜田 涼菜	紙はリサイクルでよみガエル (ポスター)
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞		福岡県 明治学園小学校 5 年	能美 にな	新しいステージへ (作文)
段ボールリサイクル 協議会 会長賞		静岡県 浜松市立三方原中学校 1 年	梶浦 美奈	紙リサイクルは続くよどこまでも (ポスター)

<銀賞>

部 門		学校名・学年	氏 名	作 品 名
作文	小学生部門	東京都 筑波大学附属小学校 6 年	藤本 怜央菜	紙バックの回収率を 上げる第一歩
	中学生部門	神奈川県 横浜市立中川西中学校 2 年	村越 遼	「知ること」は「変わること」
ポスター	小学生部門	千葉県 流山市立おおたかの森小学校 6 年	永井 秀弥	未来につながる紙リサイクル
	中学生部門	山口県 岩国市立岩国中学校 2 年	岡迫 ひより	古紙と運命の再会

<銅賞>

部 門		学校名・学年	氏 名	作 品 名
作文	小学生部門	東京都 東村山市八坂小学校 3 年	三春 沙帆	生まれ変わる紙、私。 お母さん？
		茨城県 開智望小学校 4 年	小磯 道允	待ちわびた紙の卒業式
		兵庫県 神戸市立西灘小学校 4 年	伴野 雅	小さな習慣から始める 紙リサイクル

<銅賞>

部 門		学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	中学生部門	神奈川県 横浜市立中川西中学校 2 年	浦 星奈	興味が湧いたら世界は変わる
		静岡県 静岡市立清水飯田中学校 2 年	菊池 未夢	未来のために私に出来ること
		静岡県 静岡市立清水飯田中学校 2 年	橋本 茉裕	地球を守る紙リサイクル
ポスター	小学生部門	福岡県 古賀市立古賀東小学校 2 年	大嶋 陽葵	かみが大へんしん
		愛知県 キッズ絵画アート教室 3 年	山本 朝陽	かみは、リサイクルボックスに いれてね！
		福岡県 北九州市立北方小学校 4 年	廣田 琴美	さあ、循環型社会へ、 出発進行！
	中学生部門	愛媛県 今治市立大三島中学校 1 年	木村 佳奏	リサイクル is 紙ング
		山口県 岩国市立岩国中学校 1 年	瀬戸川 優衣	笑顔のリサイクル
		山口県 岩国市立岩国中学校 1 年	森本 穂乃佳	僕達の居場所

<学校奨励賞>

部 門	学校名
小学生部門	東京都荒川区立第三日暮里小学校
中学生部門	広島県広島市立二葉中学校

7) 未利用古紙掘り起こし・品質確保等の啓発 他

SDGs と紙リサイクルやセンター事業との関わりについての周知活動、地方自治体からの要望対応等、自治体との関係強化に努めた。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体(51 団体)に感謝状を贈呈した。昭和 62 年開始から累計で 1,231 団体となった。

推薦地区	団 体 名
北 海 道	北都町内会、神楽岡 4 区町内会、函館市北浜町会、泉野イーグルススポーツ少年団、やよい長寿会
東 北	板柳町立板柳北小学校 父母と教師の会、将軍野五区町内会、桜町 1 丁目親交会、山形市立第一小学校、朝日地区町内会、西多賀北子供会、蓬萊三丁目町会、桜ヶ丘町内会
関 東	霧が丘グリーンタウン第四自治会 子ども会、伊興西町会、北野小学校 PTA、美好町二丁目自治会、秦野市立北中学校 PTA、大船パークタウン シニア会、市川市立平田小学校 PTA、市原市立三和中学校 PTA、大和田小学校 PTA、コンフォール東朝霞自治会、美九里ファイターズ、上殿町自治会、坂東市立長須小学校 PTA
新 潟	大鹿 5 区町内会、グリーンハイツ自治会、関原南町内会、姥ヶ山 4 丁目自治会、名目所自治会

推薦地区	団 体 名
静 岡	富士宮市立井之頭小中学校 PTA
中 部	県営大森向住宅自治会、八幡台自治会、鶉自治会連合会、笹尾西一丁目自治会、東郷小学校 PTA、高岡市立中田中学校 PTA、新神田小学校育友会
近 畿	池田小学校 PTA、霞ヶ丘小学校 PTA、大開婦人会
九 州	早苗一組自治会、熊本県八代市立第三中学校、八女市立川崎小学校、紅葉ヶ丘地区自治会、大町町高砂、下馬寄町内会、井芹さわやか会、西新校区自治協議会

イ 集団回収特別活動賞表彰

令和 6 年度は、集団回収特別活動賞を贈呈する団体は無かった。

2) グリーンマーク

令和 6 年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

【表示承認】	令和 6 年度	累計
事業者数	13 事業者 (新規承認事業者 8 件)	214 事業者
件数	21 件	818 件

【表示内容変更】	令和 6 年度
事業者数	2 事業者
件数	4 件

3. 調査研究事業

国内の調査については、古紙発生構造の変化や、地方自治体の雑がみ回収状況等について調べた。また、海外の調査については、韓国の製紙・古紙業界関係者との情報交換や海外製紙業界団体公表の古紙統計データ収集等を行った。



(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

可燃ごみの有料化の効果と可燃ごみ中の資源化可能な紙の掘り起しに関する調査を開始した。本事業は令和 6 年度～令和 7 年度にかけて実施することとし、令和 6 年度は可燃ごみの有料化の効果について調査を行った。また、一般消費者を対象にしたオンラインアンケートによるリサイクル意識調査を実施した。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策等に関するアンケート調査を全市区町村対象に行い、1,135 市区町村より回答があり(回答率 65.2%)、その結果を報告書にまとめて地方自治体や製紙・古紙業界関係者等に配付した。

【地方自治体古紙関連施策調査結果の一部概要】

家庭から発生する雑がみの回収の注力度合について自治体(1,110 件)にたずねると、「特別に力を入れているということはない」が 48.2%で割合が最も高く、次いで「多少力を入れている」(26.5%)、「非常に力を入れている」(15.9%)の順であった。ただし、世帯数割合では、「多少力を入れている」が 36.0%で割合が最も高く、「非常に力を入れている」(29.9%)と合わせると 6割以上(65.9%)となった。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材に関する情報の収集に努めた。

4) 未利用古紙の回収ネットワーク構築

未利用古紙の実状や回収の課題の把握に努めた。

5) 外部組織とのパートナーシップ

- ア 紙製容器包装リサイクル推進協議会／技術委員会
- イ 機密情報抹消事業者協会
- ウ 全国牛乳容器環境協議会
- エ 包装技術委員会／ISO1860 委員会
- オ 越谷市廃棄物減量等推進審議会

(2) 海外市場調査

海外レポートや Web メディアにて海外の製紙・古紙に関連する情報の収集に努めた。また、韓国の製紙・古紙業界関係者と古紙をキーワードとした情報交換を行った。

日 時 : 令和 6 年 11 月 1 日(金) 10 時 00 分 ~ 12 時 00 分

会 場 : SC 新京橋ビル 7 階会議室

参加者 : 68 名(日本 30 名、韓国 38 名)

説 明 : ①「古紙再生促進センターの取組みと日本の紙リサイクルの状況」
古紙再生促進センター業務部業務課担当課長 濱野 彰吾

②質疑応答(日本側への質問)

③「韓国古紙市場:現在の状況と展望」

韓国製紙連合会 Managing Director

Ki-Tae SEONG 氏

④韓国側への質疑応答(韓国側への質問)

(3) 統計調査

1) 古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計をとりまとめ、関係各方面に提供した。

2) 国内統計・資料作成

経済産業省紙パルプ統計(生産・出荷・在庫統計、原材料統計)、財務省貿易統計(古紙、紙類、パルプ)等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料(古紙、パルプ等)などについて調査・集計し、以下の統計をまとめ、ホームページ等を活用し、広く一般に提供した。

- ア 年間古紙需給統計
- イ 古紙需給推移(品種別)
- ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移
- エ 古紙回収率推移

- オ 古紙利用率推移
- カ 古紙品種別輸出先別輸出実績
- キ 古紙品種別輸入先別輸入実績
- ク 中国の古紙輸入量(品種別)
- ケ 古紙消費原単位

3) 海外統計

中国造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会の古紙関連統計データ、アジア主要国の古紙輸入データを収集し、関係各方面に提供した。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

令和 5 年度に取りまとめた国内外の紙リサイクルの中長期的な課題に対応するための取組みを開始した。



(1) 古紙余剰対策事業

1) 紙リサイクル維持対策（備蓄事業）

センターの備蓄事業は実施しなかった。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外調査研究

古紙回収のカーボンクレジット化に向けた事前調査を行ったが、要件の 1 つである追加性があること(カーボンクレジットという仕組みが無ければ経済的に実施が困難な炭素削減活動であること)を示すのが難しいとの意見が専門家よりあったため、本調査の開始を中止した。

2) リサイクル方法の調査研究

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

3) 紙リサイクルの維持

ア Towards 2030 & Beyond

センター半世紀を節目として関係者から寄せられた「20」の中長期課題(サステナブルチャレンジ 2050)やシンポジウムでの識者助言を受け、令和 12 年(2030 年)を念頭に置いた段階的なロードマップイメージ、令和 11 年(2029 年)度を通過点の節目とした PDCA 遂行に向けての具体的な対策や新たな試みをまとめた「Towards 2030 & Beyond」を策定した。

また、喫緊の重要案件である「雑がみ対策」について、「サステナブルチャレンジ 2050」における中長期需給シミュレーションに基づき、自治体における可燃ごみ有料化という社会的動向や各地区の状況を踏まえ、入口(古紙回収)から出口(古紙利用)まで俯瞰した対策案をまとめた。

イ 雑がみ分別・回収啓発促進活動

「子供を変えることで親を変える、社会を変える」をコンセプトに、大阪大学大学院経済学研究科・松村真宏教授との連携による仕掛学※を通じた小学生向け雑がみ回収啓発活動「雑ガミ様を探せ!(仮称)」の実施準備を行った。「雑ガミ様を探せ!」は令和 7 年度に複数地区にて実施を予定している。

※仕掛学:正論(従来の正攻法)で解決しなかった社会課題を正論を使わずに参加者が興味を持ちそうな「仕掛け」を利用することで、結果的に望ましい行動の実現を目指す学問分野。

ウ DX・GX 推進づくり

古紙問屋 1 社に専門家を派遣して DX 化が必要な業務を検討し、古紙を回収するトラックの動態管理と回収ルート最適化を図るシステムを導入する半年間のモデル事業を行うことが決定した。このモデル事業は令和 7 年度上期の実施を予定している。

5. その他の事業

各地区委員会において古紙に関する情報交換、研修会等を実施した。

6. 公益目的事業以外のセンター運営活動

業務委員会、国際委員会、家庭紙委員会、各地区委員会において、紙リサイクルシステム維持等に向けて、定期的な紙リサイクルに関する意見交換を通じて、円滑なセンター運営を心がけ、一層の情報発信に努めた。

また、創立 50 周年記念シンポジウムの開催に併せ、以下のとおり記念祝賀会を開催した。

日 時	令和 6 年 10 月 16 日(水) 17 時 00 分 ~ 18 時 30 分	
会 場	経団連会館 経団連ホール	参加者 369 名
開会挨拶	公益財団法人古紙再生促進センター 代表理事	長谷川 一郎
来賓祝辞	経済産業省製造産業局 素材産業課長	土屋 博史 氏
	日本製紙連合会 会長	野沢 徹 氏
	日本再生資源事業協同組合連合会 会長	飯田 俊夫 氏
乾 杯	全国製紙原料商工組合連合会 理事長	大久保 信隆 氏
ご 歓 談		
お 開 き	公益財団法人古紙再生促進センター 副理事長	小貫 裕司

以 上

令和6年度 本部所管会議一覧

会議名	実施回数	開催日
評議員会	1回	令和6年 6月19日
理事会(通常・臨時理事会)	3回	令和6年 5月22日、6月19日 令和7年 3月24日
常任理事会	8回	令和6年 4月18日、5月22日、7月25日、 9月30日、12月 4日 令和7年 1月23日、2月28日、3月24日
業務委員会	9回	令和6年 4月18日、5月22日、6月19日、 7月25日、9月30日、12月 4日 令和7年 1月23日、2月28日、3月24日
財務委員会	3回	令和6年 5月17日、9月 9日 令和7年 2月19日
国際委員会	4回	令和6年 6月 5日、9月 5日、12月16日 令和7年 3月11日
家庭紙委員会	4回	令和6年 6月20日、9月25日、12月18日 令和7年 3月18日

令和6年度 地区委員会一覧

会議名	実施回数	開催日
北海道地区委員会	6回	令和6年 5月28日、7月18日、9月13日、11月22日 令和7年 1月17日、3月26日
東北地区委員会	5回	令和6年 6月27日、8月26日、11月 8日、12月13日 令和7年 2月14日
関東地区委員会	12回	令和6年 4月24日、5月30日、6月28日、 7月29日、8月29日、9月27日、 10月23日、11月27日、12月24日 令和7年 1月30日、2月26日、3月27日
新潟分会	2回	令和6年 7月12日、12月 5日
静岡地区委員会	7回	令和6年 4月25日、5月28日、6月25日、 8月27日、11月26日 令和7年 1月28日、3月25日
中部地区委員会	1回	令和6年 6月14日
東海分会	5回	令和6年 4月12日、8月21日、10月22日、12月17日 令和7年 2月13日
北陸分会	2回	令和6年 10月18日 令和7年 2月18日
甲信分会	1回	令和6年 11月14日
近畿地区委員会	10回	令和6年 4月17日、5月28日、6月17日、7月22日、 9月18日、10月22日、11月28日 令和7年 1月16日、2月19日、3月17日
中・四国地区委員会	4回	令和6年 7月10日、9月 6日、12月 6日 令和7年 3月14日
九州地区委員会	7回	令和6年 4月11日、6月21日、7月11日、 9月12日、10月25日、12月12日 令和7年 3月 7日

令和 6 年度 作成刊行物等一覧表

	ホームページ 掲載	表 題 名	総ページ 数		ホームページ 掲載	表 題 名	総ページ 数
1		創立 50 周年記念誌	46	11		雑がみなどに関する消費者意識調査結果	50
2		創立 50 周年記念シンポジウム配布冊子	67	12		古紙統計年報 2023 年版	168
3		サステナブルチャレンジ 2050	388	13		2024 年古紙需給統計	24
4		令和 6 年度 地方自治体紙リサイクル施策調査報告書	61	14		日本の紙リサイクル (2024 年版)	25
5		令和 6 年度 製紙向け以外の古紙利用製品に関する実態調査報告書	18	15		PAPER RECYCLING IN JAPAN (2024 年版)	25
6		雑誌・雑がみの規格・調査等	249	16		2023 STATISTICS OF RECOVERE PAPER IN JAPAN	17
7		雑誌古紙の地区別の需給について ～各地区ヒアリングを基にした推測～	33	17		センター会報 (第 50 巻第 2 号)	24
8		地区別 地方自治体の古紙回収の区分、及び情報	113	18		センター会報 (第 50 巻第 3 号)	24
9		地区別 地方自治体の古紙回収区分の分析	61	19		センター会報 (第 50 巻第 4 号)	12
10		地区別 地方自治体の雑がみの名称使用状況	57	20		センター会報 (第 51 巻第 1 号)	20

令和6年度 会議審議経過

月 日	会 議 名	主 要 議 題
4月18日（木）	4月度常任理事会	①理事会と定時評議員会の招集及びその目的事項について ②任期満了に伴う理事候補者について ③令和5年度決算見込みについて ④全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024について ⑤紙リサイクル関連団体表彰について ⑥集団回収感謝状等贈呈実施要領の一部改正（案）について ⑦50周年記念シンポジウムについて ⑧令和6年度第1回業務委員会議事次第について ⑨その他 ・九州地区委員会事務局の事務所について ・今後のスケジュールについて
	第1回業務委員会 （W e b 会議システム併用）	①各地区の古紙の需給・市況動向について ②2024年4月～9月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ③紙リサイクル関連団体表彰について ④自治体の新人廃棄物担当向け研修について ⑤その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
5月14日（火）	監事会	①令和5年度事業報告（案）について ②令和5年度決算報告（案）について
5月17日（金）	財務委員会	①令和5年度事業報告（案）について ②令和5年度決算報告（案）について
5月22日（水）	5月度常任理事会	①通常理事会、定時評議員会及び臨時理事会の上程議案について ②職務執行状況について ③集団回収実施団体への感謝状贈呈について （北海道地区委員会、九州地区委員会の推薦） ④集団回収感謝状等贈呈実施要領の一部改定について ⑤50周年記念行事関連 ⑥令和6年度第2回業務委員会議事次第について ⑦その他 ・今後のスケジュールについて
	通常理事会 （W e b 会議システム併用）	第1号議案 令和5年度事業報告について 第2号議案 令和5年度決算報告について 第3号議案 定時評議員会の開催について 報告事項 職務執行状況について
	第2回業務委員会 （W e b 会議システム併用）	①通常理事会報告について ②各地区の古紙の需給・市況動向について ③集団回収実施団体への感謝状贈呈について （北海道地区委員会、九州地区委員会の推薦） ④集団回収感謝状等贈呈実施要領の一部改定について ⑤全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024について ⑥2023年度（令和5年度）古紙品質調査について（報告） ⑦その他 ・50周年記念行事関連 ・今後の業務委員会等の開催予定
6月5日（水）	第1回国際委員会 （W e b 会議システム併用）	〈第1部〉 ①古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ・古紙発生の現状及び見通し報告 ・国内製紙会社の古紙消費の現状及び見通し報告 ・古紙輸出に関するトピックス及び見通し報告 ②その他 ○センター創立50周年記念行事について ○次回の委員会スケジュール 〈第2部〉 古紙持ち去りの新しい法制化の動向について 古紙持ち去り問題意見交換会事務局 後藤浩成氏 （公益社団法人東京都リサイクル事業協会事務局長）

月 日	会 議 名	主 要 議 題
6月19日（水）	定時評議員会 （W e b 会議システム併用）	第1号議案 令和5年度決算報告の承認の件 第2号議案 理事の選任に関する件 報告事項 ①令和5年度事業報告について ②令和6年度事業計画及び収支予算の報告について
	臨時理事会 （W e b 会議システム併用）	報告事項 定時評議員会の決議事項等について 第1号議案 業務執行理事の選定について 第2号議案 副理事長の選定について 第3号議案 専務理事の選定について 第4号議案 常勤役員の報酬について
	第3回業務委員会 （W e b 会議システム併用）	①定時評議員会の報告について ②臨時理事会の報告について ③各地区の古紙の需給・市況動向について ④その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
6月20日（木）	第19回家庭紙委員会 （W e b 会議システム併用）	①古紙入荷・消費・在庫（2024年2月～4月） 古紙地域別入荷（同上） ②古紙の需給の現状及び見通しに関する意見交換 古紙発生の現状、見通し、古紙輸出、トピックス等 メーカー消費の現状及び見通し ③古紙の品質に関する情報交換 メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 ④その他 ・センター創立50周年記念行事（シンポジウム・経団連会館） ・今後の家庭紙委員会の開催予定
7月25日（木）	7月度常任理事会	①集団回収実施団体への感謝状贈呈について（静岡地区委員会の推薦） ②創立50周年記念式典等について ③紙リサイクル出前授業のリニューアルについて ④令和6年度第4回業務委員会議事次第について ⑤その他 ・今後のスケジュールについて
	第4回業務委員会 （W e b 会議システム併用）	①各地区の古紙の需給・市況動向について ②2024年7月～12月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ③集団回収実施団体への感謝状贈呈について（静岡地区委員会の推薦） ④創立50周年記念式典について ⑤紙リサイクル出前授業のリニューアルについて ⑥その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
9月5日（木）	第2回国際委員会 （W e b 会議システム併用）	①古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ・古紙発生の現状及び見通し報告 ・国内製紙会社の古紙消費の現状及び見通し報告 ・古紙輸出に関するトピックス及び見通し報告 ②米国・欧州・日本のOCC、MIX輸出量（2024年1～6月累計） ③その他 ○韓国製紙・古紙業界関係者との会合について ○センター創立50周年記念行事について ○2024年度賛助会費について ○次回以降の委員会スケジュール
9月9日（月）	財務委員会	①レクチャー テーマ：国債の基礎知識 講師：野村證券株式会社 本店法人営業二部次長 林美奈子様 ②国債購入の加速化について
9月25日（水）	第20回家庭紙委員会 （W e b 会議システム併用）	①古紙入荷・消費・在庫（2024年5月～7月） 古紙地域別入荷（同上） ②古紙需給の現状及び見通しに関する意見交換 古紙発生の現状、見通し、古紙輸出、トピックス等 メーカー消費の現状及び見通し ③古紙の品質に関する情報交換 メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 ④その他 ・今後の家庭紙委員会の開催予定

月 日	会 議 名	主 要 議 題
9月30日（月）	9月度常任理事会	① 集団回収実施団体への感謝状贈呈について （東北地区委員会、関東地区委員会、中部地区委員会の推薦） ② 集団回収感謝状等贈呈実施要領の改定について（案） ③ 国債について（財務委員会報告） ④ 創立50周年記念行事について ⑤ 新年互礼会について 開催日時：令和7年1月8日（水）13：00～15：00 場 所：経団連会館ダイヤモンドルーム ⑥ 令和6年度第5回業務委員会議事次第について ⑦ その他 ・ 今後のスケジュールについて
	第5回業務委員会 （W e b 会議システム併用）	① 各地区の古紙の需給・市況動向について ② 集団回収実施団体への感謝状贈呈について （東北地区委員会、関東地区委員会、中部地区委員会の推薦） ③ 創立50周年記念行事について ④ 新年互礼会について 開催日時：令和7年1月8日（水）13：00～15：00 場 所：経団連会館ダイヤモンドルーム ⑥ その他 ・ 今後の業務委員会等の開催予定
10月16日（水）	創立50周年記念行事 （経団連会館に於いて）	① 記念シンポジウム（国際会議場） ② 記念祝賀会（経団連ホール）
12月4日（水）	11月度常任理事会	① 集団回収実施団体への感謝状贈呈について （中部地区委員会、近畿地区委員会の推薦） ② 集団回収感謝状等贈呈実施要領の改定について ③ 「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024」の応募状況等について ・ 応募状況について ・ 応募締切：令和6年12月6日（金）消印有効 ・ 表彰式：（予定）2025年3月1日（土）ホテルメトロポリタンエドモント ④ 2025年度（令和7年度）予算策定関連 ⑤ 金融商品の種類・特徴などについて ⑥ 令和6年度第6回業務委員会議事次第について ⑦ その他 ・ 今後のスケジュールについて
	第6回業務委員会 （W e b 会議システム併用）	① 各地区の古紙の需給・市況動向について ② 集団回収実施団体への感謝状贈呈について （中部地区委員会、近畿地区委員会の推薦） ③ 集団回収感謝状等贈呈実施要領の改定について ④ 「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024」の応募状況等について ・ 応募状況について ・ 応募締切：令和6年12月6日（金）消印有効 ・ 表彰式：（予定）2025年3月1日（土）ホテルメトロポリタンエドモント ⑤ 古紙開梱組成結果（中間報告） ⑥ 地域ESD活動推進拠点と連携した紙リサイクル出前授業の実施について ⑦ その他 ・ 今後の業務委員会等の開催予定
12月16日（月）	第3回国際委員会	① 古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ・ 古紙発生の現状及び見通し報告 ・ 国内製紙会社の古紙消費の現状及び見通し報告 ・ 古紙輸出に関するトピックス及び見通し報告 ② 海外関連トピックス ③ その他 ○ 韓国製紙・古紙業界関係者との会合開催報告 ○ センター創立50周年記念行事開催報告 ○ 新年互礼会について 開催日時：2025年1月8日（水）13：00～ 場所：経団連会館4階 ダイアモンドルーム（東京メトロ 大手町駅 C2b出口） ④ 今後のスケジュール

月 日	会 議 名	主 要 議 題
12月18日（水）	第21回家庭紙委員会 (W e b 会議システム併用)	①古紙入荷・消費・在庫（2024年8月～10月） 古紙地域別入荷（同上） ②古紙需給の現状及び見通しに関する意見交換 古紙発生の現状、見通し、古紙輸出、トビックス等 メーカー消費の現状及び見通し ③古紙の品質に関する情報交換 メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 ④その他 ・センター新年互礼会 令和7年(2025年)1月8日(水)13時00分 経団連会館4階 ダイアモンドルーム ・今後の家庭紙委員会の開催予定
1月8日（水）	新年互礼会	経団連会館にて開催
1月23日（木）	1月度常任理事会	①通常理事会の開催日時及び議案について ②「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024」の応募結果について ・表彰式：令和7年3月1日（土）13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント飯田橋 ③“紙リサイクル”コンテスト2024 学校特別賞・学校奨励賞について ④国債の購入実績について ⑤令和6年度第7回業務委員会議事次第について ⑥その他 ・今後のスケジュールについて
	第7回業務委員会 (W e b 会議システム併用)	①各地区の古紙の需給・市況動向について ②2025年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ③「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024」の応募結果について ・表彰式：令和7年3月1日（土）13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント飯田橋 ④“紙リサイクル”コンテスト2024 学校特別賞・学校奨励賞について ⑤その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
2月19日（水）	財務委員会	第1号議案 令和7年度事業計画（案）について 第2号議案 令和7年度収支予算（案）について 第3号議案 国債購入ルールの変更について
2月28日（金）	2月度常任理事会	①令和7年度事業計画（案）について ②令和7年度収支予算（案）について ③令和7年度の収支予算における賛助会費の公益目的事業への充当について（案） ④「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024」の審査結果について ・表彰式：令和7年3月1日（土）13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント飯田橋 ⑤国債購入基準の変更及び資産管理運用要領の改正について ⑥職務執行状況について（P） ⑦令和6年度第8回業務委員会議事次第について ⑧その他 ・今後のスケジュールについて
	第8回業務委員会 (W e b 会議システム併用)	①各地区の古紙の需給・市況動向について ②「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024」の審査結果について ・表彰式：令和7年3月1日（土）13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント飯田橋 ③令和7年度予算作成状況について ④その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
3月1日（土）	全国小中学生“紙リサイクル” コンテスト2024 表彰式	①表彰状・副賞・記念楯授与 ②受賞者インタビュー ③記念撮影

月 日	会 議 名	主 要 議 題
3月11日（火）	第4回国際委員会	①古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ・古紙発生の現状及び見通し報告 ・国内製紙会社の古紙消費の現状及び見通し報告 ・古紙輸出に関するトピックス及び見通し報告 ②古紙輸出入統計 ③国際委員会の委嘱状について ④2025年度国際委員会日程（案）および海外製紙・古紙業界関係者との意見交換会について ⑤2025年度古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換の発表順番について ⑥2025年度古紙輸出に伴う賛助会費について ⑦Towards2030&Beyond(中期課題対策)今後の「雑がみ」対策の具体的立案に向けて ⑧次回のスケジュール
3月18日（火）	第22回家庭紙委員会 （W e b 会議システム併用）	①古紙入荷・消費・在庫（2024年11月～12月） 古紙地域別入荷（同上） ②古紙需給の現状及び見通しに関する意見交換 古紙発生の現状、見通し、古紙輸出、トピックス等 メーカー消費の現状及び見通し ③古紙の品質に関する情報交換 メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 ④その他 Towards2030&Beyond(中期課題対策)今後の「雑がみ」対策の具体的立案に向けて 次回以降の家庭紙委員会の日程（案）について
3月24日（月）	3月度常任理事会	①通常理事会の事前打ち合わせ ・議事次第 ・出欠表 ・職務執行状況報告について（報告） ②最近のトピックスについて ・古紙の回収量、消費量、輸入量、輸出量の推移 ・古紙の回収率、利用率の推移 ・輸出入に伴う梱包材量推定（2024年） ③令和6年度第9回業務委員会議事次第について ④その他 ・今後のスケジュールについて
	通常理事会 （W e b 会議システム併用）	第1号議案 令和7年度事業計画書及び収支予算書（案）について 第2号議案 令和7年度資金調達及び設備投資の見込み（案）について 報告事項 職務執行状況について
	第9回業務委員会 （W e b 会議システム併用）	①通常理事会報告について ②各地区の古紙の需給・市況動向について ③全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024受賞作品集について ④その他 ・今後の業務委員会等の開催予定

公益財団法人古紙再生促進センター

〒104-0042

東京都中央区入船 3 丁目 10 番 9 号

TEL 03-3537-6822 FAX 03-3537-6823

URL <http://www.prpc.or.jp>